

本を書こうと思ってから 書店に並ぶまで

モウフカブール
大澤文孝



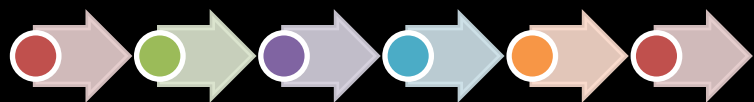
エンジニアが原稿を書くという風潮

編集部からエンジニアに原稿依頼する

→旬の情報、現場の情報を読者に伝えたい

エンジニア側から編集部を持ち込む

→自分の知見を広く伝えたい



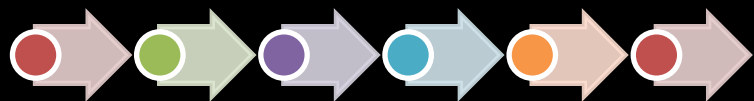


書店で並ぶ本を作る「流れ」を知る

技術ブログや技術同人誌が話題になったことで、
原稿を書くという敷居は下がった

- 書店に並ぶ本を作るのは、編集さんとの共同作業
- 編集さんと、何をしていけばいいのかわからない

全体の工程を知ることによって、著者としての振るまい、
編集者との関わり方がわかる



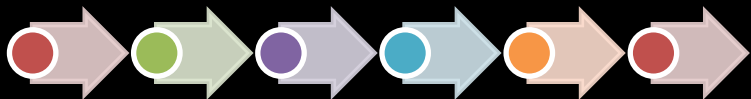


原稿や企画については



商業出版をすること
になったら
——雑誌や書籍でアウ
トプットする——
2023-8-26 A-3

https://www.youtube.com/watch?v=_SINk14YP7A&t=5s



Presented by
Moufka Bubbles





Who Am I?

大澤文孝

技術ライター／システムエンジニア／プログラマ／インフラエンジニア。



主な著書

エンジニアのための ChatGPT 活用入門 大澤文学 著

さわって学ぶクラウドインフラ Amazon Web Services 基礎からのネットワーク&サーバー構築 改訂3版 大澤文学 著

さわって学ぶクラウドインフラ docker 基礎からのコンテナ構築 大澤文学、浅原南 著

いちばんやさしい Python 入門教室 改訂第2版 大澤文学 著

いちばんやさしい Git 入門教室 大澤文学 著

東京大学のデータサイエンティスト育成講座 Pythonで手を動かして学ぶデータ分析 中山浩太郎 著

さわって学べる SikuliX Pythonで作るRPA 大澤文学 著

さわって学べる Power Platform ローコードアプリ開発ガイド 大澤文学、浅原南 著

クラウドインフラとネットワーク入門 AWS ネットワーク入門 大澤文学 著

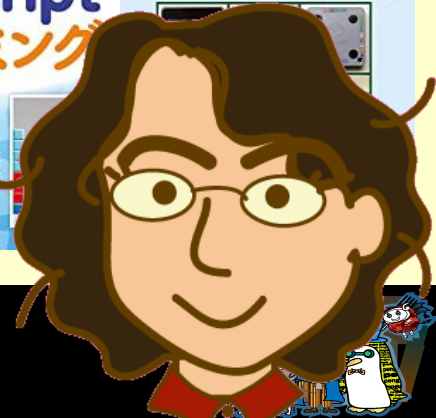
AWS Lambda 実践ガイド 大澤文学 著

ゼロからわかる Amazon Web Services ちゃんと使える力を身につける Webとプログラミングのきほんのきほん 改訂2版 大澤文学 著

できるキッズ 子どもと学ぶ JavaScript プログラミング入門 大澤文学 著

「M5Stack」で始める電子工作 大澤文学 著

100冊記念
パーティー
やり損ねた



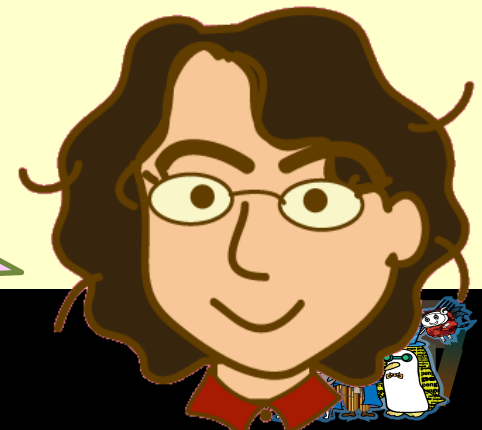


出版社、雑誌/書籍によってスタイルが違う

同じ出版社でも、編集部によってことすらある（雑誌と書籍で進行が違う）

今回は、**最大公約数的なオーソドックスな話**をします
（だいたい、どの出版社でも同じ、基礎的な話をします）
今回は、主に「書籍」をテーマにします。

不明点は、最初に
編集さんに
聞いてね！

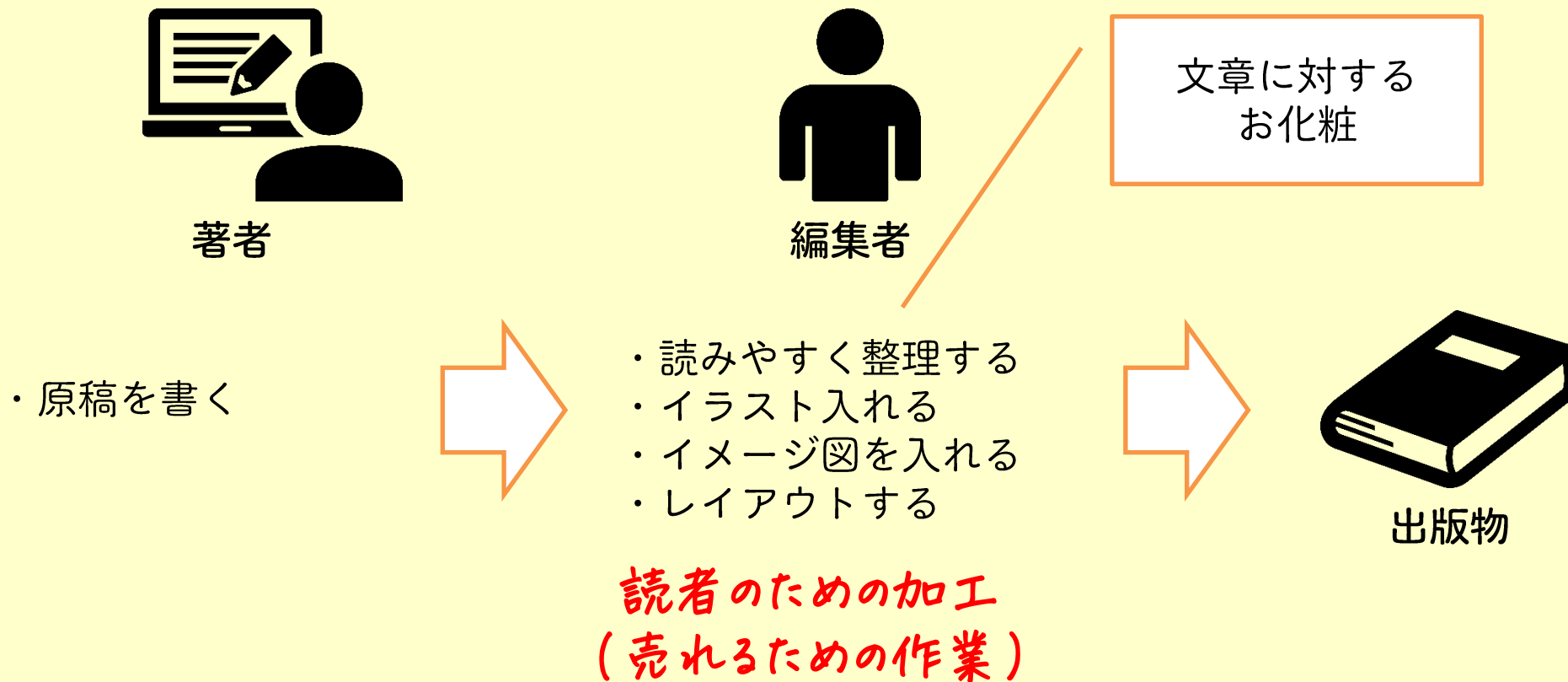


そのまま本にならない

たくさんの人たちとの共同作業



書いたものがそのまま本にならない



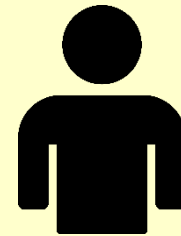
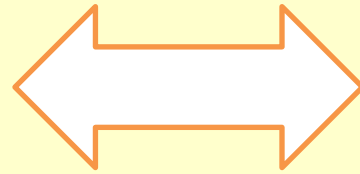


編集者との衝突

妥協点を見つける



著者



編集者

そんなの読者は知ってることが前提
実用的なものだからサンプルは多少複雑で当然

図を誰が描くの？ そんなに手間をかけられないよ

難しいから初心者向けにしたい
サンプルをカンタンにしたい
図を多くしてほしい



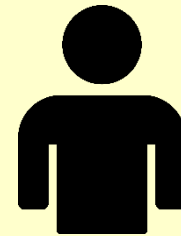
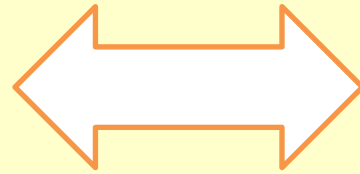


読者のほうを向かないと……



著者

俺は原稿書くのが仕事。それ以上のこ
とはしない
図が欲しいければ、おまえが作れ！



編集者

編集作業を減らしたい
完全原稿を著者に作らせれば楽でき
る！
フォーマットを決めて、それに入らな
いやつは書き直させよう



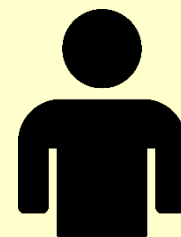
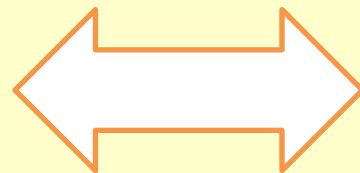


説明能力・読解能力がない場合



著者

ええと、それは俺が言いたいと違う
のだが！？



編集者

これはこういう内容だな！
わかりやすく書き直そう！！！！

悪意ではなく、
善意のこともある





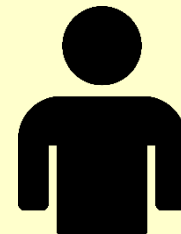
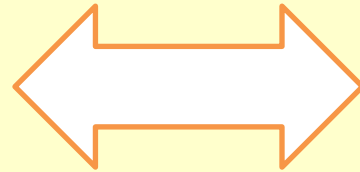
決定権は著者にある

①著者が折れる

仕方ないか。
やむない。
今回はとそれで



著者



編集者

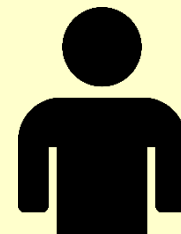
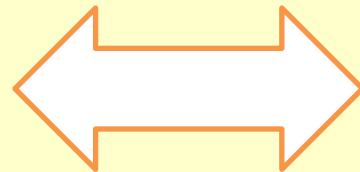
そうは言っても、な
んとかお願いします
よ！

②著者が折れない

これ直さないなら、
出版させない！



著者



編集者

え！？





制作の工程は読者から見えない



実際に誰が書いたか、
誰の意見かは関係ない。
著者名だけがすべて

円満に進めるには、工程を理解して、妥協して進めていくのが大事！

実際、複数の人たちが関わるので、

譲っていかないと、本は作れない！

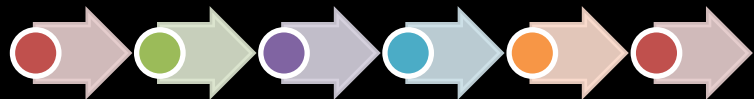
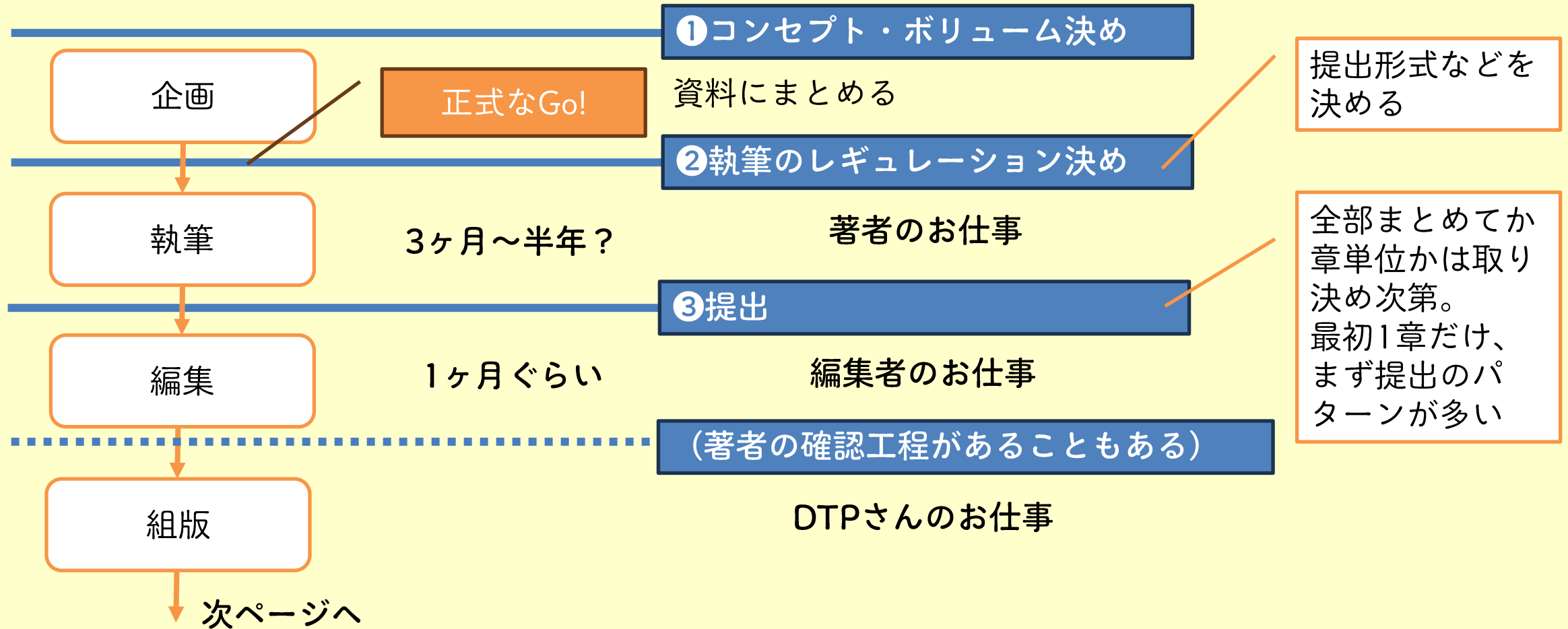
でも**最後、表に立つのは著者！**
本は、「あなたのもの」です。



本が出るまでの流れ

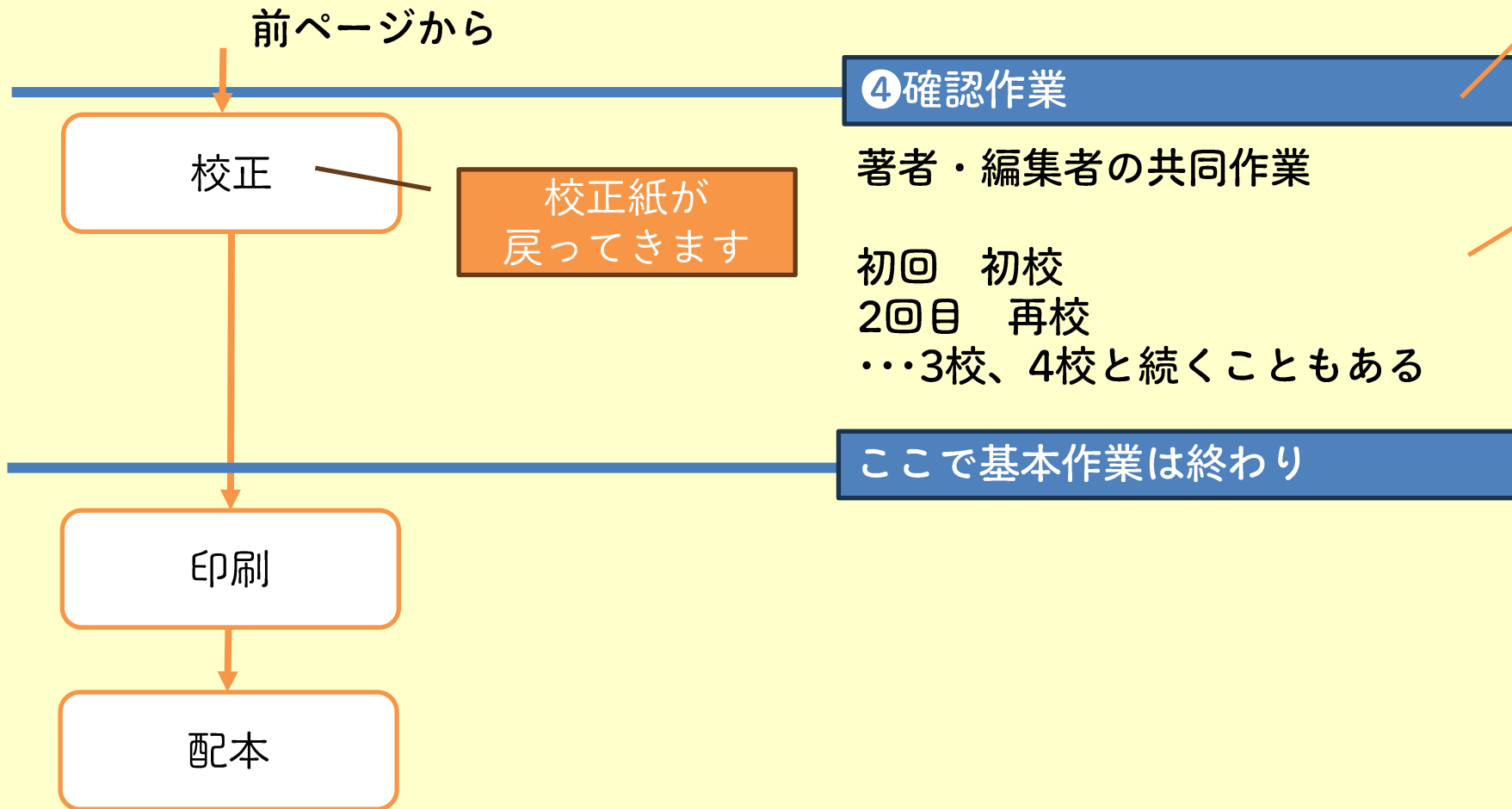


全体の流れ





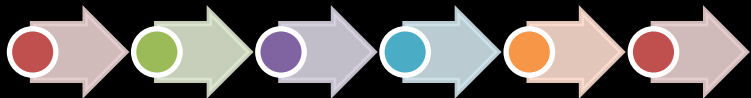
全体の流れ



校正紙が
戻ってきます

間違いを修正し
ていく

「はじめに」
「著者略歴」
「表紙」「索
引」の作業





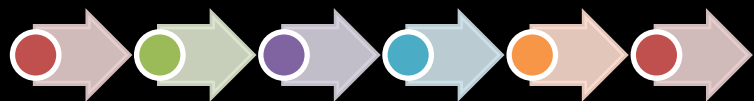
ウォーターフォール

編集さんに原稿を渡したあと、随時の原稿修正はできない

→直したいときは、どこまで進捗が進んでいるかを確認しながら調整

後戻りはしにくい

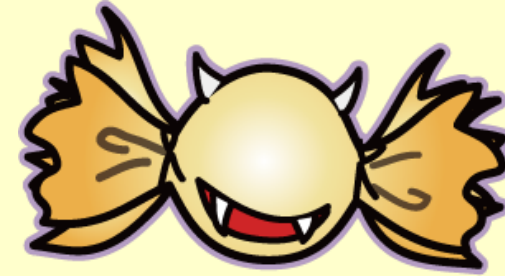
→レイアウトが終わってからの大幅な変更は厳しい



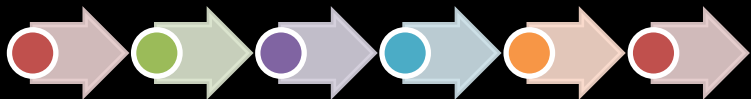
企画から執筆開始まで



企画書（構成案、目次）



- ・ 編集者が作るもの
 - ・ 対象とする読者、書籍のサイズ（B5、A5など）、ページ数
 - ・ 発売時期、価格
 - ・ **内容（構成案） ←現実との乖離があれば補正する**
- ・ この資料を基に編集部や営業部で企画会議して、
発刊するかどうかを決めていく





企画書の例

【趣旨】 ←

- 近年、「時短」というキーワードとともに、業務を自動化する RPA の導入が注目を集めている。←
- RPA はユーザーに成り代わってキーボードやマウス操作をするもので、操作を自動化することで時短が計れる。しかしそのためには、RPA プログラミング自体が簡単で手早く実現できなければならない。←
- SikuliX は、まさにそうした目的で利用できる RPA 構築ツールである。画像認識のアプローチで操作対象を特定するため、操作できるアプリケーションに制限がなく、どのようなアプリケーションでも、同じ方法で操作できる。また IDE が付属しており、プログラミング環境を別途用意する必要もない。←
- 本書では、SikuliX を使った RPA プログラミングを、さまざまな実例サンプルとともに紹介する。←

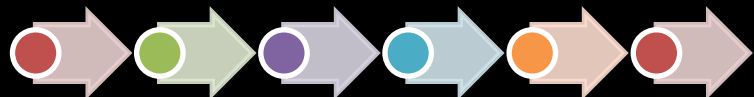
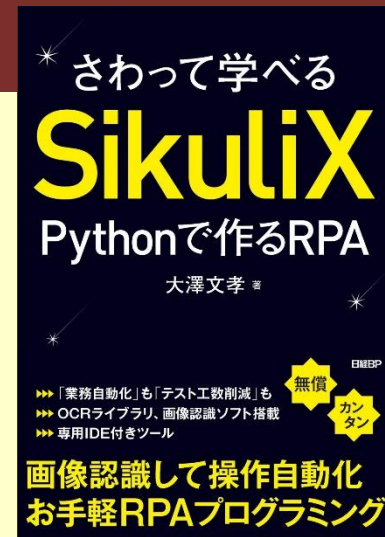
←

【読者対象】 ←

- ・RPA プログラミングを始めようとしている人←
- ・プログラミングは多少知っている人←

この本の目的が書かれていている

読者対象を定義している



Presented by
Mofukabun



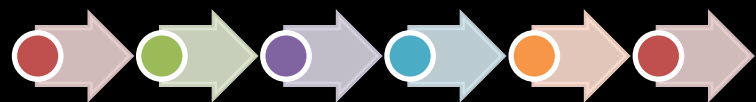


• 企画書の例

【作るものの例】 ←

- ・CSV などからの連蔵データ入力・登録作業 ←
- ・開発時などでエビデンスの画面キャプチャを必要とする一連操作の記録 ←
- ・管理ツール画面における異常監視 ←
- ・OCR を使った入力補助 ←
- など ←

出版社内で「Go!」をもらうための
プレゼン資料の意味合い





企画書の例（構成案）

第1章 RPAを実現する SikuliX

- 1-1 RPAとは
- 1-2 RPAに必要なもの
- 1-3 SikuliXとは
- 1-4 SikuliXのインストールと起動
- 1-5 本書の構成

←

第2章 SikuliXの基本

- 2-1 SikuliXの基本的な考え方
- 2-2 クリック操作の自動化
- 2-4 IDEにおける画像の差し替え操作
- 2-5 処理の調整と高速化
- 2-6 アプリの起動とウィンドウへのフォーカス
- 2-7 次の画面が表示されるまで待つ
- 2-8 メッセージウィンドウを使ったデバッグ

←

第3章 SikuliXでよく使う操作

- 3-1 キーボード操作の自動化
- 3-2 CSVファイルからの自動入力
- 3-3 ドラッグ&ドロップ操作の自動化
- 3-4 目的物が表示されるまでスクロールする
- 3-5 画面キャプチャを保存する

第4章 画像マッチングを理解する

- 4-1 画像マッチングの仕組み
- 4-2 合致率とクリック位置の調整

企画書に盛り込まれないこともあるが、
構成案は、執筆前に編集さんと決める、大事な同意事項

これを決めないと、編集さんはボリュームがわからないし、内容が意図する方向で進むかわからないので困る

←

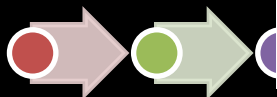
第5章

- 5-1 データベースとの接続
- 5-2 Seleniumを使ったブラウザの自動操作
- 5-3 Androidアプリの自動操作

←

第6章 SikuliXを使った本格RPAアプリ

- 6-1 自動入力支援アプリを作る
- 6-2 StingでUIを作る
- 6-3 OCRを使った文字列化
- 6-4 クリップボードを操作する



執筆と編集



執筆

構成案に基づいて執筆する

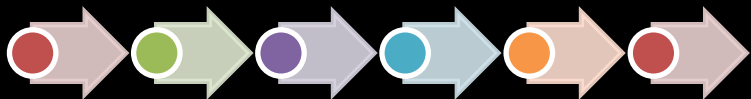
構成案は本の設計図に相当するもの

書いているうちに、変えたいくなることもある

→相談して微調整する

→ボリューム（ページ数）の変更は、難しいこともある

スケジュールや
価格に影響する
ため





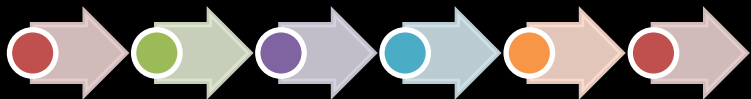
執筆前のレギュレーション

提出形式は？

テキスト、Word、Markdown？

編集側の押しつけではなく、著者がなれているツールが望ましい
なれないツールは生産性を下げる

原稿整理は編集者の仕事で、著者の役割ではありません





図や画面キャプチャはどうするの？

- ・ **画像の上に引出線や説明文などは入れない**

引出線などは、画像とは別に指示を用意する（PowerPointなどに画像を張って、画像とは別に指示）

印刷したものに手書きでも可

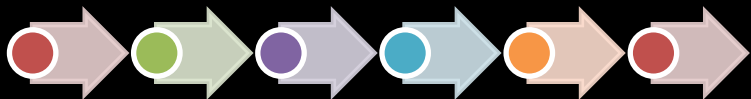
- ・ 画像は必ず画像ファイルとして渡す

Wordなどに貼ると、保存方法によっては劣化するため

- ・ 画像の幅を揃えると、印刷したときにきれいになる

- ・ トリミングしすぎない

オリジナルの画像も提出してね！





図や画面キャプチャはどうするの？

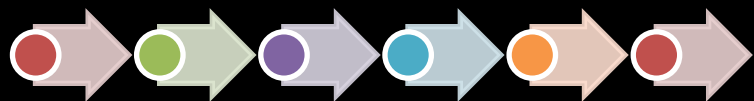
ラフでOK。手書きでもPowerPointでも

イラストレーターの方が清書してくれる

Illustratorで作れば、そのまま掲載できるが事前協議

こだわる人は、どうぞ！

ただし、フォント、サイズなどは事前に取り決め必要



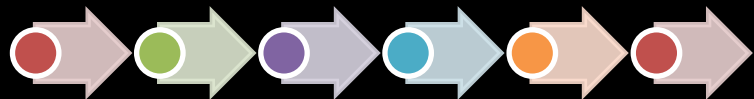
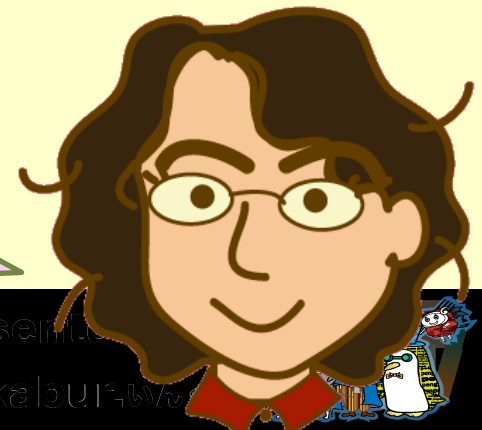


図ってあとから送っていいの？

OK。その分、空けてレイアウトされる

図ができ次第、その場所にあとで配置してくれる

あとからでもいいけど、サイズと数は決めないとダメ





編集者はなにをするの？

原稿・図版を整理して、レイアウトできるようにする

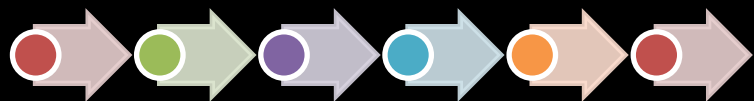
誤字脱字の修正はもちろん、原稿を読みやすく。

見出しを付けたり、箇条書きにしたり、フォーマットを揃えたり……

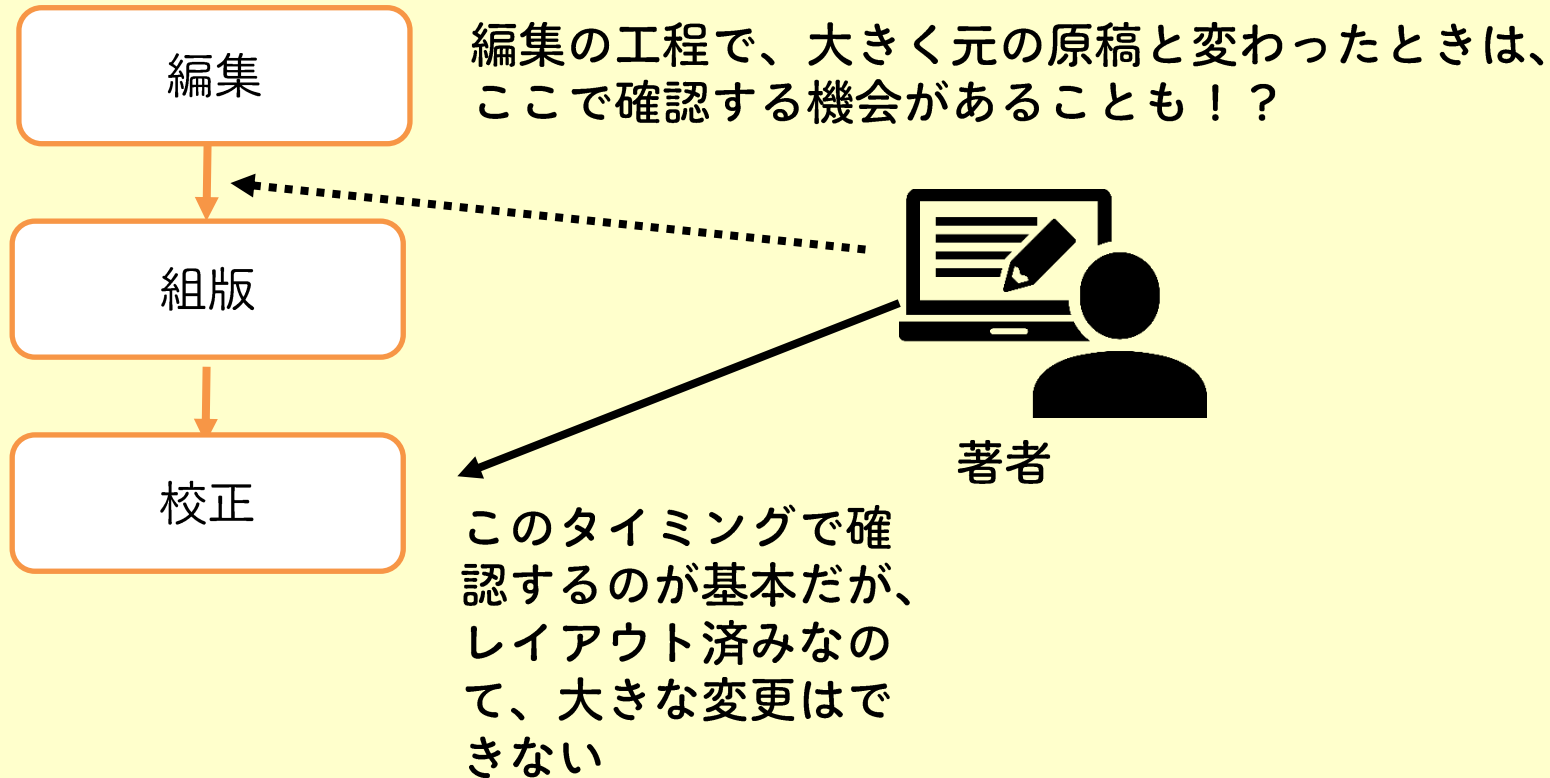
イラストが必要な箇所は、イラストレーターに発注

レイアウトの作業がやりやすいように原稿テキストを整形する

(タグ付け、記号付け、図番号と画像ファイル名の突合など)



編集後の原稿は？



レイアウトと校正

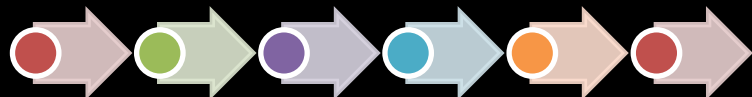


赤字を入れて修正する

The screenshot shows a document editor interface. On the left, a document titled "校正紙" (Correction Paper) is open. The document content includes sections for "画像認識" (Image Recognition) and "画像生成" (Image Generation). The "画像生成" section contains the text "同社の画像生成AIである「DALL-E3」を使って、入力したテキストをもとに画像を生成します。" (Using the company's image generation AI, "DALL-E3", to generate images based on the input text). A red mark is visible on the text "生成します。". Below this, there is a section titled "オプション機能を有効にする" (Enable optional features) with explanatory text. On the right, a comment thread is visible, showing a comment from "osawa" dated 11月27日 (November 27th) that says "できます。" (It can be done.). Below the comment, there is a "返信を追加" (Add reply) button. The comment thread is titled "14件のコメント" (14 comments).

PDFがいいか、紙に赤入れするかは、編集さんと相談。

PDFの場合も、どんなふうに赤入れするのか望ましいかを聞くのがよい





校正記号

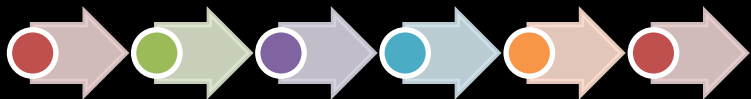
記号	記入例	修正結果
1.1 文字・記号の修正		
1.1.1 文字・記号を取り替える		
	循環共生	循環と共生
	一番の問題	一番の問題
	循環共生	循環と共生
	一番の問題	一番の問題
【許容】		
1.1.2 直書きを示す仮名を小書きの仮名に直す		
	ニッチ	ニッチ
【許容】		
1.1.3 小書きの仮名を直書きを示す仮名に直す		
	かつて	かつて
【許容】		
1.1.4 文字・記号を削除し、その部分を詰める		
	環境に 適 応	環境適応
	定住に 生 活	定住生活
	環境に 適 応	環境適応
	定住に 生 活	定住生活
【許容】		
1.1.5 文字・記号を削除し、その部分を空けておく		
	自然の 管 理	自然 管理
	自然の 管 理	自然 管理
【許容】		
1.1.6 文字・記号を挿入する		
	育れて	育まれて
【許容】		

JISで規定されている。
エンジニアが無理して使う必要はない。
ウェブメディアでは、編集者すら使わないこと
ある。

トルツメ = 削除して以降をツメる

【知っておくと良いルール】

- ・文字の上に線を引きつけた場合は、それを差し替える
- ・文字を丸で囲んだ場合は、フォントの変更やコメントなどの指示





PDFの赤入れ流儀

5. テキストの削除

<ツール>



(テキスト注釈ツール)

<指示の方法>

1. [テキストの注釈] ツールをクリックする。
2. 削除対象のテキストを選択する。
3. [テキストの注釈] ツールの「選択したテキストに取り消し線を引く」を選択する。
4. 必要に応じて、ポップアップノートに指示を入力する。

■使用例(1)

~~実際、ライター、ディレクター、外先によって使用するツールにバラつきが多いので、「追加→挿入テキスト」、「削除→取り消し線」、「置き換え→置換するテキスト」、「その他の指示→長方形ツール」のように統一できれば非常に作業が楽になる。~~
~~また会社によって使用しているAcrobatのバージョンがさまざまで、最新版を導入しているところはまだ少ないと思うので、どのバージョンでも使用できる基本的なツールが望ましい。~~資料8～9ページで紹介しているツール+添付機能で充分では。

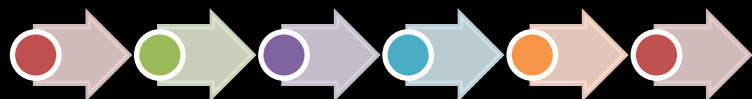
テキストを削除して、以降を詰める場合(「トルツメ」指示の場合)は、ポップアップノートに指示を入力する必要はない。削除後に詰めない場合(「トルアキ」指示の場合)や特に追加の指示がある場合は、ポップアップノートに具体的な指示を入力する。

テクニカルコミュニケーター協会
https://jtca.org/useful/tc_guide/

PDF電子校正ガイドライン第3版より引用

どのツールで、どのように指示を記入するのがよいかという指針が示されている。

ただし、業界標準ルールではない。



Presented by
Mofukabun





大きな変更は厳しい

レイアウトが大きく動くような変更は避ける。

20行入れたいとき

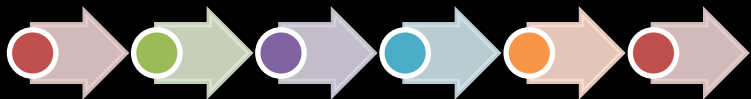
- ・別のところで20行削る
- ・図を小さくする
- ・逆に20行以上、増やして、1ページ分追加する

などなど……

本は、200ページとか300ページとかあるので、修正の都度、全ページの確認なんて、やってられない！

修正があったところだけ確認する

確認したページは、できるだけいじらないで済むように進める





初校と再校

初校

1回目の校正。ある程度、大きめの修正も許される

原稿の「内容」に関することは、提出時点で修正しておくべきことなので、**ここで内容変更することは「ごめんなさい」と謙虚になるべき**

大きな変更、ページ全体に渡る変更は、**レイアウト担当者の作業を無碍にする行為。**

再校

2回目の校正。1回目の校正が反映されたもの。

修正されたものが直っているかを確認する作業

(自分が入れた赤字以外に、**編集さんが入れた赤字も反映されているので、全体確認が必要)**

新しい赤は入れないのが基本。**どうしてもものときは、ごめんなさいして赤入れして！**

(事故を防ぐため、反映できないこともある)

さらに3校、4校と続くが、編集部が巻き取る



Presented by
Mofukabun





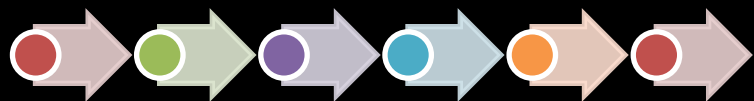
再校以降

3校、4校・・・

編集部が巻き取るので、著者是对応する必要なしだが・・・

編集の勝手な修正がトラブルの原因にも

著者の同意をとらずに3校以降で修正して、そのまま出版、著者と、もめるケースあり。



本文以外の作業



「はじめに」と「著者略歴」

(初校や再校のタイミングなど) 執筆が一段落したところで依頼がある

はじめに

読者が最初に読む情報。

書評を書く人が、ここを参考にすることもあるので、想いを伝えるのが大事！

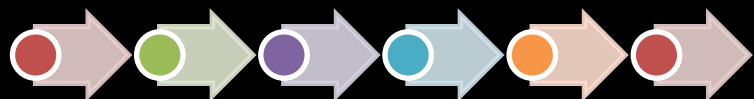
著者略歴

最後のページに掲載される自己紹介。

これらも校正が出るので、確認！

とくに、「自分の名前」に間違いがないかは、絶対確認して！！！！

大澤文考 **×** 孝



表紙

表紙は、編集さんが決めるのが基本。
ただし、いくつかの案から選べることもある



うたい文句は、著者と編集者で決める



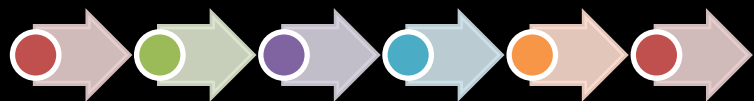
索引

編集者が作ってくれるので、こだわりがなければ、何もしなくてOK

→専門家ではないので、索引語が適切でないことがある

→著者が語句をマーキングして渡す（紙に蛍光ペンやPDFに蛍光ペンツール）のが安心（ページは編集部で拾ってくれます）

索引の校正を出さない編集さんも多いが
確認することを強くオススメ



良い本を作ろう



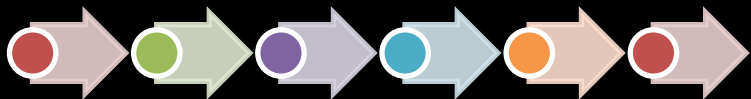
編集者の気遣いが裏目に出る

著者の負担を減らしたい

- 気になるところがあるけど、原稿を書き直してもらうのは悪い
- 気になるところがあって修正したいけど、修正するのは失礼だからスルー
- 何度も校正を確認させるのは悪いので、編集サイドで確認しよう
- 著者に索引を作ってもらうのは悪いから、編集部で作ろう

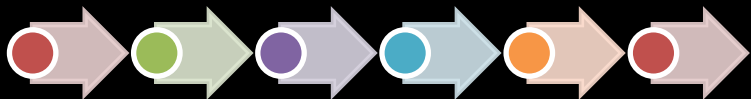
→ **結果、著者の知らぬところで何か起きてトラブルに**

互いに言いたいことを言って、良い本を作ろう





モウフカブールについて



Presented by
Mofukabur-いふく



モウフカブール



モウフカブール
<http://mofukabur.com/>



小笠原種高



大澤文孝



浅居尚

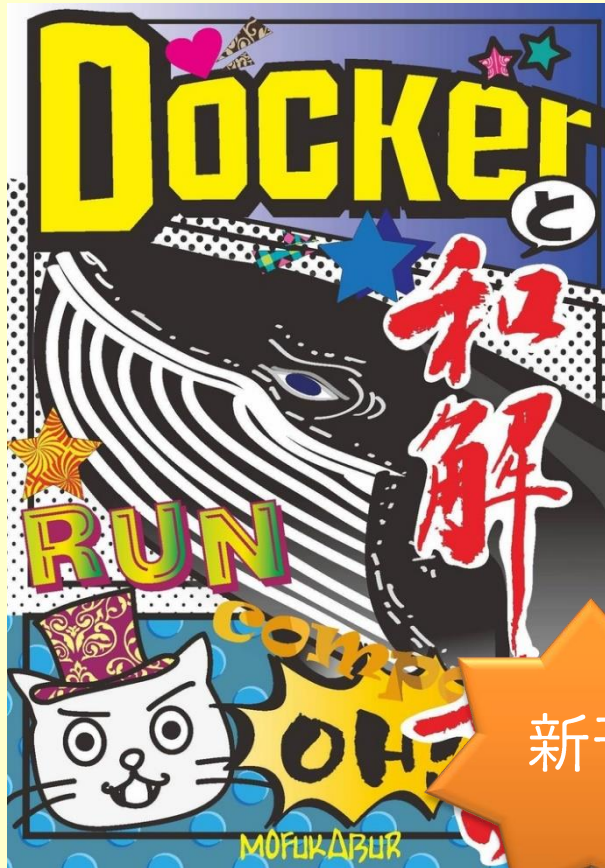


桐島諾子





同人活動



新刊



技術書典14 参加中

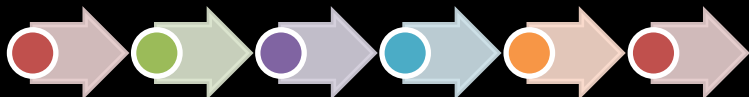
モウフカブール

技術ライター小笠原種高・大澤文孝を中心とする同人集団。
技術同人から写真集、電子工作、作曲まで幅広く活動しています。
<http://www.mofukabur.com/>

おすすめの書籍



新刊



Presented by
Mofukabur

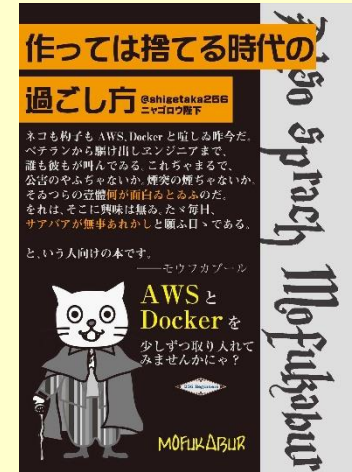
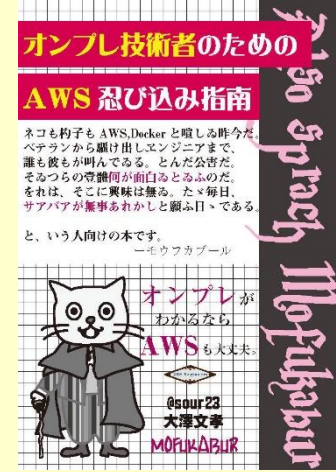
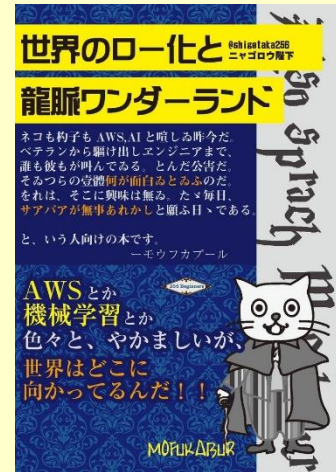




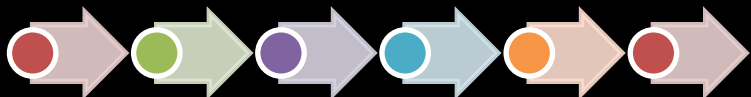
3月10日 OSC2024 Tokyo/Spring



東京都立産業貿易センター台東館 7階



OSCの講演内容が、本になりました！
イベントにて登壇する機会の増えたモウフカブールのメンバーが、セッションで話した内容を元に、追記編集した新シリーズ「Also sprach Mofukabur (モウフはかく語りき)」



Presented by
Mofukabur



3月23日モウフカブール料理部が発足

MOFUKABUR
無頼にオレンジ
低温調理の本



●漬けておだけ！カンタン紅茶豚
●休日の作り溜めで、平日も美味しく
●真空パックで、もっと長持ち



Orange

MOFUKABUR
無頼にブラウニー
電気調理鍋の本

Now
Printing



brownie

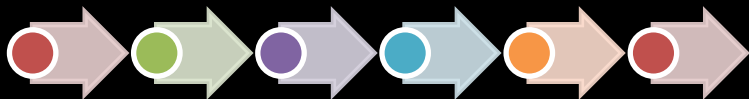
●漬けておだけ！カンタン紅茶豚
●休日の作り溜めで、平日も美味しく
●真空パックで、もっと長持ち

第8回 旅チケット 関西めしけつと in 関東

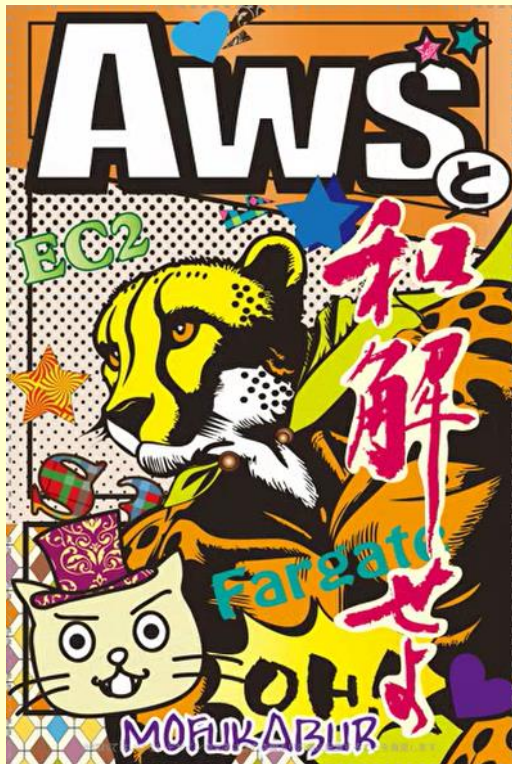


2024年3月23日(土)
川口市民ホール「フレンジア」

川崎市民ホール「フレンジア」



5月の技術書の同人誌即売会



新刊はAWSと和解除せよ



2024年5月26日 (日)
池袋サンシャインシティ



2024年5月12日 (日)
大田区産業プラザPiO

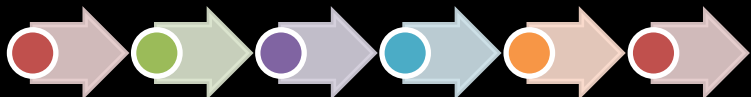
出ます!

第十回 技術書同人誌博覧会

2024.05.12 Sun. 11:00~16:00

@大田区産業プラザPiO 大展示ホール

[協賛ご案内資料はこちら](#)





名古屋の人は5月25日にお会いしましょう！

OSC2024 Nagoya

オープンソースの「今」を伝える

Open Source Conference 2024 Nagoya

2024年5月25日 10:00~18:00

中小企業振興会館 3階 第2ファッション展示場

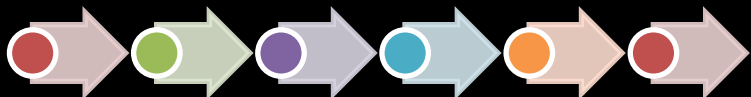


小笠原種高



浅居 尚

OSC 2024 Nagoya

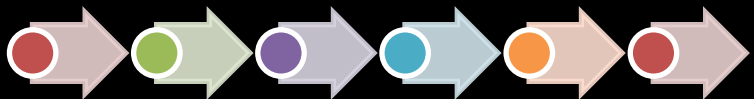


Presented by
Mofukabun





聞きたいこと教えてください



Presented by
Moifulkabusurいふく





駆け出しエンジニア応援します！

- こんなこと知りたい
- こういうことがわからない

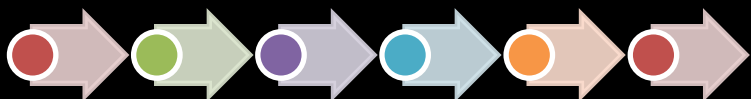
→是非、教えてください！



モウフカブール
<http://mofukabur.com/>

Follow me

 @sour23



Presented by
Mofukabur株式会社

